

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
小児看護学方法論Ⅳ	2年次 後期	必修	講義	1単位（30時間）	櫻井 照美 ※
授 業 概 要					
健康障害のある子どもと家族への看護については、入院時から子どもと家族が退院後に地域で生活することを踏まえて看護を考え、健康障害が子どもと家族に及ぼす影響や、成長発達を踏まえながら健康障害のあるさまざまな状況の子どもと家族への看護を理解できるようになる。					
到 達 目 標					
1. 救急処置が必要な子どもと家族への看護を述べる。 2. 先天的な問題や障害のある子どもと家族の看護を述べる。 3. 手術を受ける子どもと家族への看護を述べる。 4. 低出生体重児と家族の看護について述べる。 5. 紙上事例を通し、成長発達や病状を踏まえた子どもと家族に必要な看護を述べる。 6. 検査・処置を受ける子どもと家族への看護に必要な看護技術を演習を通して述べる。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	1. 救急処置が必要な子どもと家族の看護 1) 子どもの発達と事故 2) 子どもの救急時の援助方法（心肺蘇生法、溺水、誤飲、熱傷）				櫻井 照美 ※
2	2. 先天的な問題をもつ子どもと家族の看護 3. 心身障害のある子どもと家族の看護 1) 発達障害児				
3	2) 重症心身障害児				外部講師 外部講師
4-5	4. 手術を受ける子どもと家族の看護 1) 子どもの手術の特徴と手術前・後の看護 2) ファロー四徴症の子どもと家族の看護				
6-7	5. 低出生体重児と家族の看護				外部講師 櫻井 照美 ※
8-10	6. 子どもの看護過程（事例）				
11-15	7. 検査・処置を受ける子どもと家族の看護 バイタルサイン測定、身体計測、採血、採尿、穿刺（腰椎・骨髄）、 与薬、輸液療法、吸引、吸入（酸素・薬物）、経管栄養 等				
学 習 方 法					
講義・演習・グループワーク。演習・グループワークは、お互いに協力して行う。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験80%、課題20%。					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	小児看護学〔1〕	小児看護学概論	小児臨床看護総論 奈良間美保 他	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	小児看護学〔2〕	小児臨床看護各論	奈良間美保 他	医学書院
厚生指針	国民衛生の動向	厚生統計協会			
根拠と事故防止からみた	小児看護技術	浅野みどり 編集			医学書院